

送信状

平成 22 年度「大学生国際問題討論会 2010」

論題：日本政府は、すべての主要国による、公平かつ実効性のある国際的な枠組みの構築と意欲的な目標の合意が得られなくても、2020年に1990年比で温室効果ガス25%削減に向けた措置を講じるべきである。

肯定側立論書

チーム名：_____

代表者氏名：_____

受付番号 No. _____ ※

※事務局記入欄

チーム名：

代表者氏名：

P 1

チーム名：

代表者氏名：

P 2
